

お詫びと訂正

2013年10月に発行致しました「NURSE LAKE (ナースレーク) vol.120」におきまして、記載に誤りがありました。正しくは以下の通りです。

- p2 医療機関名称
(誤) 済友仁山崎病院
(正) 友仁山崎病院
- p4 第7地区支部だより写真(差替え)
- p8等
(誤) 社団法人 滋賀県看護協会
(正) 公益社団法人 滋賀県看護協会

会員の皆さまならびに関係各位にご迷惑をお掛けしましたこととお詫びするとともに、ここに訂正させていただきます。お手数ですが、差し替えていただきますようお願いいたします。

公益社団法人 滋賀県看護協会 会長 石橋 美年子

第7地区支部だより

災害看護研修会

平成25年7月7日(日)
第7地区支部研修「災害看護研修会」



(グループワークでの活発な意見交換を発表)

私たちの住む高島市には、琵琶湖西岸断層帯と花折断層という大きな2つの活断層帯が存在しています。いつ起こるかもしれない大規模な災害に対して、私たちは日頃から備えを万全にして、いざという時に落ち着いて、すばやく、そして適切な行動が取れるようにしておかなければなりません。第7地区支部では災害看護の意識が高く毎年研修会を開催し、今年度は市内の病院や施設、行政の看護職51名が参加しました。

研修会では、実際に避難所での支援活動を実施した災害支援ナースに、避難所の様子や災害支援ナースの活動状況を写真と共に講演して頂き、現地の様子を具体的に感じる事が出来ました。避難所のトイレの状態は衛生面から深刻な問題で、手洗いやうがいの啓発など感染対策や環境整備も重要な災害支援ナースの役割でした。

グループワークは、災害支援ナースがファシリテーターとして各グループに入り、災害時に看護職として、地域の住民としてどのように行動すれば良いか、避難所での職種間の連携や運営での配慮すべきこと等について活発な意見交換と避難所のシュミレーションすることが出来ました。私達は、災害時に何を備えておくのか、どのような心構えでいなければいけないかを日頃からイメージしておくことが大切であり、大変有意義な研修となりました。

ナースに、避難所の様子や災害支援ナースの活動状況を写真と



(災害支援ナース派遣1……現地へ出向いた災害支援ナース)